

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)

【公表番号】特表 2019-535822 (P2019-535822A)

【公表日】令和 1 年 12 月 12 日 (2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-050

【出願番号】特願 2019-547064 (P2019-547064)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4412 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/4412

A 6 1 K 9/48

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 9 日 (2020.11.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アルコール性脂肪性肝炎及び非アルコール性脂肪性肝炎 (N A F L D / N A S H) の治療に効果的な、ビルフェニドンを含む持続放出性錠剤の形態の医薬組成物。

【請求項 2】

進行した肝線維症の処置に効果的な、ビルフェニドンを含む持続放出性錠剤の形態の医薬組成物。

【請求項 3】

血清コレステロールレベル及びトリグリセリドレベルを減少させるための、N A F L D / N A S H の治療に対する、請求項 1 または 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

肝臓の脂肪蓄積を減少させるための、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記肝臓の脂肪蓄積は、小滴性脂肪変性である、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記肝臓の脂肪蓄積は、大滴性脂肪変性である、請求項 4 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

過剰な肝臓脂肪の排出を誘導するための、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

N F k B の発現の減少のための、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

肝臓の炎症の減少のための、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

I L - 1 7 A、I L - 1 0、I L - 6、I L - 1、I F N - 及び T N F - から選ばれる 1 以上のサイトカインの血清レベルの減少のための、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

T G F - 1 の発現の減少のための、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

C D 1 1 b 及び M C P 1 の発現の減少のための、請求項 1 ～ 11 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

C O L 1 A 1 及び T N F - の下方調節のための、請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

L X R 及び P P A R アルファのレベルの増加のための、請求項 1 ～ 13 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

S R E B P 1、C P T 1 A、P P A R アルファ及び / 又は P P A R ガンマの 1 つ以上の発現の増加のための、請求項 1 ～ 14 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

P P A R ガンマ、P P A R アルファ、L X R 及び / 又は C P T 1 の 1 つ以上の刺激のための、請求項 1 ～ 15 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 17】

1 0 0 m g ～ 6 0 0 m g のビルフェニドンを含む、請求項 1 ～ 16 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 18】

1 0 0 m g、2 0 0 m g、3 0 0 m g、4 0 0 m g 又は 6 0 0 m g ビルフェニドンを含む、請求項 1 ～ 17 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。